



日本アニメ発祥の地で アニメ一色の一日！

～大泉学園駅北口周辺で、「アニメプロジェクト in 大泉 2014」を開催～

と き 5月18日(日) 午前10時～午後4時30分

と ころ 西武池袋線大泉学園駅北口周辺4会場
(区立大泉小学校、妙延寺、大泉風致地区公園、東映アニメーションギャラリー)

18日、大泉学園駅周辺で『アニメプロジェクト in 大泉 2014』が開催され、名誉区民である漫画家の松本零士さんと、ちばてつやさんのトークショーが行われたほか、人気アニメ「ハピネスチャージプリキュア！」のキャラクターショーや、プロが教えるセル画彩色教室などが開催された。練馬区は、日本初のカラー長編アニメ『白蛇伝』や30分連続テレビアニメ『鉄腕アトム』などが製作され、現在もアニメ制作関連会社が日本一集まる地。このイベントは、そんな「ジャパンアニメーション発祥の地 練馬区」を広くPRし、アニメによる地域の活性化を促進するため、平成14年に初めて開催して以降、今回が11回目の開催となる。

セル画彩色教室に参加した小学生は、「初めての体験で楽しかった。ねり丸のゴーグルやアンテナが細かくて、塗るのが大変だった。アニメで一杯の会場の雰囲気がとても楽しいです。」と、感想を話してくれた。



【セル画彩色教室の様子】



【トークショーの様子】

【当日の様子】

開会セレモニーでは、練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」のオリジナル切手の贈呈式が行われ、同会場での先行販売では好調な売れ行きを見せた。子どもたちに大人気の「ハピネスチャージプリキュア！」のキャラクターショーでは、子ども連れの家族で会場は満員に。ショーが始まると子どもたちの歓声が何度もあがっていた。

名誉区民で漫画家の松本零士さんと、同じく区内在住の漫画家ちばてつやさんのトークショーには、日本が世界に誇る2大巨匠の公演に多くのファンが訪れた。松本零士さんは「(世界的な植物学者であり、練馬区名誉区民でもある)牧野先生の著した植物図鑑を参考にして画を描き、その作品が入賞したこともあった。私の人生において、練馬との縁を強く感じている」と練馬に対する思いを語り、ちばてつやさんは「(代表作『あした天気になあれ』の)『チャー・シュー・メン!』の掛け声は、区内のゴルフ練習場のレッスンで実際に使われていた掛け声をもとに生まれた」といった作品の裏話などを披露。二人の軽快なトークに、ファンたちは笑い声を挟みながら、熱心に聞き入っていた。

【主催】

練馬区、地元商店街・商店会、西武鉄道(株)、東映アニメーション(株)、練馬アニメーション協議会などで構成するアニメプロジェクト in 大泉推進連絡会。

【問い合わせ】

区民生活事業本部 産業経済部 商工観光課 アニメ産業振興係 電話 03-5984-1276